

木造日蓮坐像 1 軀

木造日蓮坐像

もくぞうにちれんざぞう

分野／部門

有形文化財／美術工芸品〔彫刻〕

所有者

宗教法人 長久寺(ちょうきゅうじ)

所在地

大阪府中央区谷町 8 丁目

紹介



木造日蓮坐像(長久寺)

長久寺は、谷町 8 丁目に寺地を構える日蓮宗の寺町寺院である。近代の地誌の『大阪府全志』によれば、天正 17 年(1589 年)4 月建立され開山は日長という。本像の像高は 45.6 センチメートル、本堂の内陣中央にまつられる。背面の銘記から、文禄 3 年(1595 年)に尼崎住人の吉岡新右衛門正次が長久寺に奉納した像であることがわかる。大坂の陣に先立つ時代に製作された日蓮坐像で、市域に伝来する肖像彫刻の中では、非常に古い時代の作例であり、日蓮像の基準作のひとつと位置付けられる。